

1	議席番号 1 番 山口 一博 議員	開始予定時間 12月11日 午前9時
<p>【吉田町の人口問題について】</p> <p>本町が平成27年10月に策定した「吉田町人口ビジョン」によると、2060年の将来人口推計を、町独自推計では21,214人と推計している。</p> <p>そして、国の長期ビジョンや静岡県人口ビジョンに示された方向性を勘案しつつ、目指すべき方向性を踏まえた「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げた。</p> <p>その中で、2020年までに母子健康手帳交付数300件、合計特殊出生率2.07、2050年までに10代～30代までの転出超過傾向にある階層の流出抑制・流入促進による移動の均衡化等の施策を具現化することにより、2060年には29,057人の将来人口を展望としている。</p> <p>このことを踏まえて、以下のことを質問します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人口減少問題は、吉田町にとって中長期的にどの様に町民・町政に影響を及ぼすのか。 2 2016年人口動態統計によると、25歳～39歳の女性階層が子どもを持つことが多いことから、その世代がそもそも減少傾向だと人口問題そのものが論じられないことから、2015年当町では2,585人いたが、親世代の人口増加施策はどの様なものか。 3 2020年、合計特殊出生率2.07を目指しているが、直近のデータや施策の有効性は。 4 2015年国勢調査によると、国全体では、生涯未婚率が男性23.37%、女性14.06%と、40年前と比較して、約3倍近くなっている。同年、当町では、25歳～39歳の男女階層数は5,413人いたが、どの様な未婚率低減対策を立てていて、今後も続けていくのか。 		

2

議席番号 5 番

大石 巖 議員

開始予定時間

12月11日 午前10時

【浜岡原発災害広域避難計画と中部電力(株)との安全協定について】

国の原子力災害対策では、UPZ圏内（原子力施設から概ね半径30km圏内）の地方公共団体において、広域避難計画を策定することとされています。

浜岡原発UPZ圏内11市町のうち、計画策定済みは、御前崎市など4市ですが、避難等の実効性には、多くの問題があると考えます。

以下について質問します。

- 1 浜岡原発で過酷事故による災害が発生した場合、県内や群馬県に避難する計画となっているが、実効性のある避難計画を策定することができるのか。
- 2 浜岡原発の過酷事故による、放射性物質や放射線の放出があった場合、PAZ（5km圏内）の人は避難し、UPZ圏内の人は屋内退避となっており、500 μ Sv/h（毎時500マイクロシーベルト）に達した場合、避難が開始される計画であるが、子どもたちを高濃度の放射線にさらす計画でいいのか。
- 3 住民の命、暮らしを守るために行うべき自治体の役割は、事故発生に対応する避難計画ではなく、浜岡原発の事故を未然に防ぐためにも、再稼働せず廃炉にすることではないか。
- 4 中部電力と7市町・県で締結した原子力安全協定には、再稼働の事前同意条項が入っていない。
茨城県東海第2原発周辺6市村が締結した「事前了解権を含む新安全協定」と同様の協定に改める必要があるのではないか。

3	議席番号10番 大塚 邦子 議員	開始予定時間 12月11日 午前11時
<p>【田村町長の行政運営について】</p> <p>平成28年度から平成35年度までの8年間のまちづくりの指針を定めた第5次吉田町総合計画では、わが町の将来像を「人が集い 未来へはばたく魅力あふれるまち 吉田町」と描き、町は、津波防災まちづくりの成果を活用したシーガーデンシティ構想への取り組みを本格化させている。</p> <p>また、平成27年10月に策定された「吉田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減少をくい止め、地域社会の衰退に歯止めをかける命題への取り組みも行われており、シーガーデンシティ構想と地方創生の成否は、わが町の将来を左右するものと注視している。</p> <p>町長として、これらを達成するためには、どのような資質が求められるのか、具体的にするため、以下の点における今後の行政運営について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 組織の機動力を生かす行政運営は。 2 産・学・民との協働（まちづくり公社、大学との連携事業等）は。 3 財源確保による財政の健全化は。 4 シティプロモーションの取り組みは。 5 次代を担う人づくり・教育（専門分野、科学技術への対応）は。 		

4	議席番号 6 番 山内 均 議員	開始予定時間 12月11日 午後1時
<p>【ラーニングプランの総括について】</p> <p>平成19年度から始まった全国学力・学習状況調査において、平成25年4月に実施された調査の結果、静岡県の小学校6年生の全国順位は国語が全国最下位、ほかの3科目も36位という結果になった。中学3年生の順位も低下傾向を示した。吉田町内の小・中学校でも同様な傾向が示された。</p> <p>この調査結果を踏まえ、町内小・中学校の学力向上を図るため、吉田町では、平成26年度から平成29年度までの4年間、吉田町ラーニングプランを策定し事業を進めてきた。</p> <p>その結果、平成29年度において、小学校では、すべての科目で全国平均を上回った。一方、中学校では、すべての科目で全国平均を下回った。</p> <p>平成30年度、全国学力・学習調査結果が公表された。(参考資料に示されたとおり)小学校では、理科が全国平均を上回った。中学校では、国語Bが全国平均を上回ったが、その他は全国平均を下回る結果が出た。</p> <p>この結果は、ラーニングプランの目標を達成したわけではない。</p> <p>予算においては、平成26年度 約2,000万円、平成27年度 約1,000万円、平成28年度 約1,300万円、平成29年度 約1,700万円が予算計上されている。</p> <p>また、この間、ベネッセの総合学力調査を毎年4月と11月に実施したことや静岡大学との提携による確かな学力向上に向けた取り組みを行ってきた。</p> <p>改めて4年間の総括をする必要があると考える。 そこで質問をする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ラーニングプランに費やした費用の年度ごとの内訳と具体的内容は。 2 ベネッセに期待した役割と成果に対する評価は。 3 静岡大学との提携の役割と成果に対する評価は。 4 ラーニングプラン推進中における、教師、児童・生徒からの意見等の反映は。 5 ラーニングプラン全体に対する教育委員会としての総括は。 6 ラーニングプラン全体に対する町長としての総括は。 		

5	議席番号 4 番 蒔田 昌代 議員	開始予定時間 12月11日 午後2時
<p>【町の社会教育施設の整備について】</p> <p>町の社会教育施設には、吉田町中央公民館、吉田町学習ホール、町立図書館、ちいさな理科館等があります。</p> <p>その中で、吉田町中央公民館は、平成26年度に大規模改修を実施し、平成27年2月にリニューアルオープンしました。</p> <p>また、吉田町学習ホールも町民の発表の場であり、町の行事にも使われており、二つの施設は町民にとっては身近な施設であります。</p> <p>吉田町中央公民館は、災害時に庁舎が使用できない場合には、中央公民館が拠点となることも聞いております。</p> <p>この二つの社会教育施設の整備について伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 吉田町中央公民館は、リニューアルオープンから3年が経過した。 中央公民館1階ホール裏側駐車場が整備されていないが、駐車場の整備の考えはあるか。 2 障害者用の駐車場スペースの確保について、駐輪場の拡張について、どのように考えているか。 3 吉田町学習ホールは、昭和60年の建築から33年が経過している。 改修計画についてどのような考えでいるか。 4 吉田町学習ホール建物内の設備について、耐震補強、転倒防止策等を行っているか。 		